

# 第1編 研究の基礎

## 【目次】

第1章 第1・2次沼田市教育水準向上研究<第4年次>推進計画 .....	11
第2章 研究経過の概要 .....	15

## 第1章 令和5年度 第12次沼田市教育水準向上研究〈第4年次〉推進計画

### 1 研究主題

社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力を身に付けた子どもの育成

### 2 主題設定の理由

本市では、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、平成29年度より「自ら学び共に考え、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」を主題に掲げ、知・徳・体の3つの柱から「学校教育の重点」を示して3年間取り組んできた。第3年次には、確かな学力についての指導の重点を、育成を目指す資質・能力を明確にした単元の指導計画の重視、社会や生活とのつながりをもたせた視点を明確にした指導の工夫など、新学習指導要領の趣旨をより具体的に反映させたものとした。

幼稚園では学びの連続性を踏まえ、幼児が主体的に遊ぶ中での環境の再構成や援助の実践等が見られた。小中学校では単元を通して、何を身に付けるのか、どのように学んでいくのかについて研修が進められた。また、めあてと振り返りの確実な実施とともに、学習活動の精選によって授業改善につながった。また、道徳教育では、「考え、議論する」道徳科への質的転換に向けた研修が推進された。生徒指導では、学校園全体での情報共有や組織的な対応について意識が高く、きめ細かな対応がなされた。健康な体の育成についても、家庭との連携、授業での指導と行事との関連性の重視などの工夫が見られた。各学校園からの評価も高く、成果が上げられたと考える。

第12次では、これまでの成果を生かした取組を進める中で、新学習指導要領で目指している「生きる力」を身に付けた子どもの育成をより一層図りたいと考えた。そこで、第12次では、「生きる力」を「社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力」と捉え、目指す子ども像を意識して主題を設定した。

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」を重視すること、知識の理解の質を高め、確かな学力を育成すること、道徳教育の充実や体験活動の重視、体育・健康に関する指導の充実により、豊かな心や健やかな体を育成することを基本的なねらいとしており、特色ある教育活動を通して、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく育成していくことが求められている。この3つの柱は、第11次までに取り組んできた成果と課題を十分に生かしていくことができると考え、第12次においても、それぞれに「指導の重点」を示し、各学校園で重点を置いて取り組んでいくこととした。

また、これらの指導に当たっては、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が求められている。そこで、特に、確かな学力の育成については、第11次までの取組において各学校園で進めてきた授業改善の成果と課題を生かした「単元や題材の構想」「めあてや見通し、振り返り」とともに、深い学びの鍵となる「見方・考え方」を働かせる学習活動の工夫を図っていくこと、学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」などの育成を図る学習活動の充実を教育活動全体を通じて進めていくことを「指導の重点」とした。

さらに、今回の改訂において、育成を目指す資質・能力が3つ（「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」）に整理をされた。これらは、知・徳・体にわたって共通する重要な要素であることから、教育活動全体を通じてどのような力を身に付けさせていくか、といった教科等横断的な視点で教育課程の編成・実施を進めていくことと、家庭や地域、専門機関との連携を図ることが必要である。

以上のような観点に立って、全市的に研修を推進することにより、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力を身に付けた子どもを育成することができると考え、本主題を設定した。

### 3 研究目標

第12次教育水準向上研究推進計画を基に、市教委及び各学校園が自主的、組織的に研究実践することにより、社会の変化に主体的に関わり、未来社会を切り拓く力を身に付けた子どもの育成に努め、もって本市教育水準の総合的向上を図る。

### 4 指導の重点

指導の重点を以下（【表1】）のようにし、各学校園の実践において、重点を置いて取り組むこととする。

【表1】

確かな学力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各教科等において育成を目指す資質・能力を明確にして、内容や時間のまとまりを見通した単元や題材の構想</li> <li>○児童生徒にめあてと見通しをもたせたり、学びを振り返って次につなげたりする授業づくりを意識するとともに、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる学習活動の充実</li> <li>○学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」などの育成を図る学習活動の充実</li> </ul>
豊かな心	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「考え・議論する」道徳科への質的転換に向けた指導の工夫</li> <li>○「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を意識した特別活動の充実</li> <li>○いじめを許さない心を育てるための児童生徒主体のいじめ防止活動の充実</li> </ul>
健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもの心身の健康の保持増進を図るための健康教育の計画的な推進と充実及び感染症対策の徹底</li> <li>○「体力向上プラン」を踏まえ、教科体育を核とした運動やスポーツに対する関心や意欲の向上を図る取組の推進</li> <li>○子どもの危険予測・回避能力を高めるための実効的な安全教育の推進</li> </ul>

### 5 研究の推進

#### (1) 市教育委員会

##### ① 第12次教育水準向上研究<第3年次>推進計画の策定

第11次教育水準向上研究の成果や課題、国や県の教育動向等を踏まえ、教育長の指導の下、校長会協議会、園長会議、教育水準向上研究推進委員会等の意見を参考に、学校教育課長、指導主事により策定する。

##### ② 各年次の企画・運営・評価等

教育長の指導の下、学校教育課長、指導主事が中心となり、校長会協議会、園長会議、教育水準向上研究推進委員会等の意見を参考にしつつ、各種研修事業の企画・運営・評価、全市的な成果と課題のまとめなどを行う。

#### (2) 各学校園における推進

##### ① 研究主題の設定

市の主題、目標に基づき、各学校園における緊要な課題について討議し、各学校園の教育目標達成を目指した適切な研究主題を設定する。

##### ② 研究推進委員会の組織と運営

校（園）長の指導の下、各学校園が実情に即して研究推進委員会等を設け、組織的、効率的に研究実践を推進する。組織は学校運営機構に適切に位置付けられるよ

うに配慮する。

③ 研究推進計画の策定

各学校園の教育目標達成を目指して設定した研究主題に基づき、創意工夫した学校経営を展開する中で研究に取り組み成果がまとめられるように、推進計画を立てて実践する。

④ 研究推進と総括・反省

以上の推進計画に基づき、主体的・組織的な研究を進め、1月下旬までにその成果を研究報告書にまとめ、市教育委員会が作成する市研究紀要「沼田市の教育」の原稿として、市教育委員会に提出する。

⑤ 研究成果の活用

「沼田市の教育」を教育実践に活用し、幼児・児童・生徒の人間関係形成に役立てるとともに、各教員の教育実践の指針とし、反省の資料とする。

(3) 教育水準向上研究推進委員会

校長会協議会代表者2名、教頭会代表者2名、教育水準向上研究授業研究会会場校より研修主任各1名、事務局5名等で構成する。年3回程度開催し、教育水準向上研究の推進に係る諸施策等を協議するとともに、その評価等を行い、研究推進の改善・充実に資する。

(4) 沼田市教育研究所

該当する各学校より選ばれた所員及び研究員で、小学校班(3~4名)、中学校班(3名)の2班を編成する。班ごとに、市の主題を踏まえて研究主題を設定し、研究実践を行う。

(5) 各種研修会

- ① 「『沼田市・先生の日』幼小中学校教職員全体研修会」を開催し、第12次沼田市教育水準向上研究についての説明を行う。
- ② 「沼田市夏季研修会」を開催し、学習指導要領の具現化と指導力の向上による授業改善を図る。
- ③ 「沼田市教育水準向上研究授業研究会」を実施し、第12次教育水準向上研究に係る学校教育の重点の具体化を図る授業の在り方を研究するとともに、市教育水準の全体的な向上を図る。会場校は研究会に向け、市教育委員会と連携を図って研究を推進する。
- ④ 「沼田市教育研究所成果発表会」を実施し、各研究班による研究の成果と課題を各学校園に広め、市教育水準の全体的な向上を図る。
- ⑤ 「沼田市幼保こ小関連教育推進事業研究会」を実施し、義務教育と就学前の教育・保育との連携の充実を図る。

6 研究計画 ※第12次教育水準向上研究は、令和2年度～令和5年度までの4年間

- |             |                             |
|-------------|-----------------------------|
| 令和2年度<第1年次> | 子どもの実態等確認・指導の重点の絞り込みと実践     |
| 令和3年度<第2年次> | 子どもの実態等に応じた指導の重点に基づく実践      |
| 令和4年度<第3年次> | 第2年次までの成果と課題を踏まえた実践の積み上げ    |
| 令和5年度<第4年次> | 第3年次までの成果と課題を踏まえた実践と4年間のまとめ |

＜研究主題＞

# 社会の変化に主体的に関わり、 未来社会を切り拓く力を身に付けた子供の育成

## 確かな学力

- 各教科等において育成を目指す資質・能力を明確にして、内容や時間のまとまりを見通した単元や題材の構想
- 児童生徒にめあてと見通しをもたせたり、学びを振り返って次につなげたりする授業づくりを意識するとともに、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせる学習活動の充実
- 学習の基盤となる「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」などの育成を図る学習活動の充実

## 豊かな心

- 「考え・議論する」道徳科への質的転換に向けた指導の工夫
- 「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」の視点を意識した特別活動の充実
- いじめを許さない心を育てるための児童生徒主体のいじめ防止活動の充実

## 健やかな体

- 子供の心身の健康の保持増進を図るための健康教育の計画的な推進と充実及び感染症対策の徹底
- 「体力向上プラン」を踏まえ、教科体育を核とした運動やスポーツに対する関心や意欲の向上を図る取組の推進
- 子供の危険予測・回避能力を高めるための実効的な安全教育の推進

## 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

### 学校（幼稚園）経営の充実

- 学びの連続性を踏まえた幼小中連携の充実
- カリキュラム・マネジメントの充実
- 校（園）内研修の計画的な実施

### 家庭や地域社会・専門機関等との連携

- 家庭や地域社会と連携・協働した教育課程の編成・実施・評価（社会に開かれた教育課程の実施）
- 地域の人的・物的資源の積極的活用
- 専門性を持った関係機関との連携や組織的・協働的な課題の解決

### 教育研究所

- 資質向上に資するための実践的な班別研修の推進
- 「教育支援センター（きずな）」「ことばの教室」における支援体制の確立

## 第2章 研究経過の概要

### 1 令和4年度（1～3月）

月 日	研 究 事 業 等	研 究 内 容 等
1. 1 1	1 月 定 例 校 長 会	○1 2月の月例報告
1. 1 2	第10回 教 頭 会	○班別研修 等
1. 1 4	沼田市いじめ防止子ども 会議	○いじめ防止に向けた各校の児童生徒主体の取組の発表 「いじめのない学校を目指して」 ※オンライン開催
1. 1 7	第3回 幼稚園長会議	○第2回以降の特記事項についての報告 等
1. 1 8	国際交流事業説明会	○来年度の国際交流事業について ※中止
1. 1 9	教 務 主 任 会	○教育課程及び学事等について
1. 2 0	第3回 教育水準向上推進委員会	○今年度の成果と課題、次年度の計画等について
1. 2 4	教育研究所第二次検討会	○研究のまとめの検討
2. 2	2 月 定 例 校 長 会	○1月の月例報告等
	教育研究所論文審査会	○論文・実践記録審査
2. 7	第11回 教 頭 会	○教頭会研究のまとめ 等
2. 1 6	沼田市通学路安全推進会議	○今年度の通学路点検におけると取組状況の報告について
2. 2 4 2 7	第2回学校経営ヒアリング	○本年度の学校経営の評価、反省と今後の課題について ○学校教育指導の重点と各学校の取組
2. 2 8	教 育 研 究 所 修 了 式 成 果 発 表 会	○修了証書授与 ○令和4年度研究成果の発表
<p>◆小学校班の研究 より確かな自分の考えをもつことができる児童の育成 ～交流場面で表現と思考を促す「伝える」「聞く」「再考察する」工夫を通して～</p> <p>◆中学校班の研究 自らの考えを再構築することができる生徒の育成 ～目標と思考を可視化し、自らの思考の変化を捉えることができる活動を通して～</p>		
3. 2	3 月 定 例 校 長 会	○2月の月例報告等
3. 3	第4回 幼稚園長会議	○第3回以降の特記事項についての報告 等
	第12回 教 頭 会	○本年度の反省と次年度の展望、行事日程

## 2 令和5年度（4月～1月）

月 日	研 究 事 業 等	研 究 内 容 等
4. 1 2	4 月 定 例 校 長 会	○3月の月例報告、令和5年度沼田市教育行政方針 等
4. 1 2	教育研究所委嘱状交付式	○辞令交付 研究の進め方について 等
4. 1 3	第1回 幼稚園長会議	○令和5年度園務分掌、4月の特記事項について 等
4. 1 3	第1回 教 頭 会	○令和5年度組織編成、研究主題・計画について 等
4. 1 4	英 語 主 任 等 会 議	○A L T 訪問計画調整、情報交換 等 （書面開催）
4. 1 9	「沼田市・先生の日」 幼小中学校教職員全体研修会	○全体研究会 ※参集+オンライン開催 令和5年度沼田市教育行政方針についての確認 等
4. 2 0	研 修 主 任 会	○令和5年度の各校の取組について情報交換 等
4. 2 1	生徒指導主事・主任会議	○生徒指導の重点、生徒指導に関する情報交換 等
	いじめ防止担当者会議	○令和5年度いじめ防止子ども会議におけるテーマ等の確認
4. 2 7	第1回学校経営ヒアリング	○令和5年度の市教育委員会の取組と学校・園運営
5. 2		○学校教育指導の重点と各学校・園の取組
5. 9	5 月 定 例 校 長 会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
5. 1 6	第2回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 所長 角田 義行
5. 1 6	第1回 教育支援委員会	○事業報告、予算承認 等 （年間7回開催）
5. 2 5	第1回 教育水準向上推進委員会	○令和5年度の教育水準向上研究の推進について
5. 3 1	幼保こ小関連教育推進事業	○授業公開 於：多那小学校
6. 6	6 月 定 例 校 長 会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
6. 7	第3回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 管理主監 角田 巧
6. 2 7	教育研究所主題検討会	○各班の主題の検討
7. 5	7 月 定 例 校 長 会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
7. 7	第4回 教 頭 会 (郡市合同研修会)	○講話 利根教育事務所 管理主事 後藤 一将
7. 2 5	第1回 学校経営研修会	○講話 沼田市教育委員会 学校教育課長 林 武史
7. 2 7	第2回 学校経営研修会	○講話 沼田市教育委員会 管理主事 角田 厚

7. 2 4	沼田市夏季研修会 (全教職員対象)	○パネルディスカッション テーマ:「令和の日本型学校教育」を担う『学び続ける教職員』であるために ※参集+オンライン開催
8. 8 8. 9	沼田市中学校国際交流事業 業オンラインプログラム	○フィリピン在住の中学生及び現地外国人コーディネーターとオンラインによる交流プログラムを実施
9. 5	9月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
9. 6	第2回 教育水準向上推進委員会	○授業研究会、「沼田市の教育」等について
9. 7	第5回 教 頭 会	○研究主題に基づく各校の情報交換 等
	第2回 幼稚園長会議	○第1回以降の特記事項についての報告 等
9. 2 6	教育研究所第一次検討会	○各班の中間検討
10. 3	10月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
10. 1 1	学力向上対策フォーラム	○各小中学校における学力向上対策について
10. 1 3	第6回 教 頭 会	○研究主題に基づく各校の情報交換 等
11. 2	11月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
11. 8	第7回 教 頭 会	○研究主題に基づく各校の情報交換 等
11. 1 6	教育水準向上研究	○小学校部会 沼田北小学校
	授 業 研 究 会	○中学校部会 沼田南中学校 ※参集+オンライン開催
12. 5	12月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
12. 2	中学生のための大学講座	○実習・講義「永久コマを作ろう」 群馬大学理工学部理工学系技術部
12. 5	沼田市児童生徒学校保健 活動発表会	○学校保健委員会成果発表:川田小学校、池田中学校 ※参集+オンライン開催
12. 1 3	第8回 教 頭 会	○班別研修の概要報告、情報交換 等
1. 1 0	1月 定例 校長会	○開始前連絡、教育長指示・伝達 等
1. 1 2	沼田市いじめ防止子ども 会議	○いじめ防止に向けた各校の児童生徒主体の取組の発表 「いじめのない学校を目指して」 ※オンライン開催
1. 1 6	第9回 教 頭 会	○班別研修 等
1. 1 6	第3回 幼稚園長会議	○第2回以降の特記事項についての報告 等



1. 1 9	教 務 主 任 会	○教育課程及び学事等について
1. 2 3	第3回教育水準向上推進委員会	○今年度の成果と課題、次年度の計画等について
1. 2 3	教育研究所第二次検討会	○研究のまとめの検討

※「中学生のための玉原数学教室」「国際交流事業説明会」は中止